

保健学研究共通特講IV/VIII (2) 保健学／疫学研究の指標とデザインの基礎知識：計算練習解答例

下図は上の10人が曝露群，下の10人が非曝露群の，2000年初から2015年初までの観察データである。

実線は健康で観察中，破線は注目している疾患に罹っていることを示す。×は罹患，●は死亡，○は治癒を示す。

(1) 曝露群の全データを用いて曝露群の罹患率を計算せよ。

曝露群の Population at risk の観察人年の合計は
 $12+4+15+10+2+12+3+3+1+13=75$ 人年，罹患数は 4
 $4/75=0.053\dots$ で，約 0.053 (／年)

(2) 曝露群の 2006 年半ばにおける有病割合を計算せよ。

曝露群に 2006 年半ばには 9 人いて，そのうち 2 番と
 3 番の 2 人が罹患中なので，有病割合は $2/9$ で，約 0.22

(3) 非曝露群の全データを用いて非曝露群の罹患率を計算せよ。

非曝露群の Population at risk の観察人年の合計は
 $10+12+7+15+8+3+10+2+13+13=93$ 人年，罹患数は 2
 $2/93=0.0215\dots$ で，約 0.022 (／年)

(参考) 罹患率比は $(4/75)/(2/93)=2.48$

(4) 全データを用いてリスク比とリスク差を計算せよ。

曝露群の 15 年間のリスクは $4/10=0.4$
 非曝露群の 15 年間のリスクは $2/10=0.2$
 リスク比は $0.4/0.2=2$
 リスク差は $0.4-0.2=0.2$

